

2025 年 8 月号

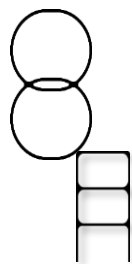
四万十図書館だより

発行＊四万十市立図書館



暑さが身に堪える時期となりましたが、皆さま体調などはお変わりありませんか？

図書館では、夏休み期間中である 8 月に、暑い夏にひんやりする「夏のこわ〜いおはなし会とミニワークショップ」や中学生、高校生向けのイベント、「図書館で推し活 ロゼットをつくろう」を開催予定です。皆さまぜひご参加ください。



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



→休館日

8 月図書館情報

本 館

『夏のこわ〜いおはなし会とミニワークショップ』

日時：8 月 3 日（日）10：30～11：15

場所：市役所 3 階防災対策室

対象：3 歳～小学生 定員：25 名程度

※事前申込不要

『図書館で推し活

ロゼットをつくろう』

日時：8 月 9 日（土）13：30～15：00

場所：多目的ホール・グループ学習室

対象：中学生～高校生 定員：10 名程度

※事前申込制

※詳細は、お電話かカウンターまで。

一般展示

「僕たちはどう生きるか
～戦争・紛争の時代～」

終戦後 80 年の節目にも関わらず、人類は未だ戦争・紛争を止められない。

このような世界で我々はどう生きるべきか？

場所：一般展示コーナー

ガラスケース展示

「幡多と戦争」

戦争の体験者が少なくなっている今、幡多でも戦争が起きていた歴史があることを写真と新聞でありのままに伝える。

場所：図書館通路ガラスケース

児童展示

「自由研究がんばるぞ～！」

夏休みの自由研究をサポート！みんなは
なんの自由研究をする？

場所：児童展示コーナー

児童参加型展示

「みんなでまわす、

本の観覧車・メリーゴーランド」

みんなのおすすめの本が観覧車、メリーゴーランドにのります。普段読まない本で新しい発見ができるかも？

場所：雑誌棚前・おはなしのへや前



新着本紹介



小説	『しふく弁当ききみみ堂』 冬森 灯
『朝からブルマンの男』 水見 はがね	『橋の家』 中西 智佐乃
『アンスピリチュアル』 高野 史緒	『妻はりんごを食べない』 瀧羽 麻子
『筏までの距離』 水原 涼	『ネバーランドの向こう側』 佐原 ひかり
『ウインクに警告』 南原 詠	『ひらりと天狗』 明里 桜良
『営繕るかや怪異譚 その4』 小野 不由美	『ふたり旅日和』 秋川 滝美
『踊れ、愛より痛いほうへ』 向坂 くじら	『普天を我が手に』 奥田 英朗
『帰れない探偵』 柴崎 友香	エッセイ
『関係のないこと』 上田 岳弘	『生きる言葉』 依 万智
『こうふくろう』 薬丸 岳	『トットあした』 黒柳 徹子
『寿ぐ嫁首』 三津田 信三	外国文学
『暦のしずく』 沢木 耕太郎	『草の豎琴』 トルーマン・カポーティ
『最初の星は最後の家のような』 太田 愛	『黒い空』 アーナルデュル・インドリダソン
『サイレントシンガー』 小川 洋子	『ジェイムズ』 パーシヴァル・エヴェレット
『残光そこにありて』 佐藤 雫	郷土
『七月の鋭利な破片』 櫛木 理宇	『ひとりじゃないき』 山中 しのぶ

人生訓	医学
『ほどよく忘れて生きていく』 藤井 英子	『歩く』 池田 光史
宗教	『休養学』 片野 秀樹
『教会は初めてのあなたへ』 小林 よう子	『現代バテ』 谷口 英喜
歴史	『父と娘ときどき母の認知症日記』 南高 まり
『ヴァイキング解剖図鑑』 小澤 実	芸事・お稽古
旅行	『阿川佐和子のきものチンプンカンプン』 阿川 佐和子
『るるぶ岡山倉敷蒜山 '26』	料理
『るるぶ群馬 '26』	『からだを整う「酢」の料理』 角田 真秀
『るるぶ栃木 '26』	『やってはいけない! 間違った調理法』 中元 千鶴
『るるぶ松江出雲石見銀山 '26』	芸術
社会	『はり絵を楽しむ』 内田 光
『アンチ・アンチエイジングの思想』 上野 千鶴子	言語
『下山事件真相解明』 柴田 鉄隆	『ゼロから話せるラオス語』 吉田 英人
『防犯心理学』 内藤 誼人	『ニューエクスプレスプラス シンハラ語』 野口 忠司

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など

貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)

定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)

※夕方・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車3台分)